

名古屋市公会堂 クラシック廣間 Vol.13

ソプラノ & 弦楽四重奏

事業レポート

去る9月29日(日)、名古屋市公会堂第13回目となるロビーコンサートを開催しました。当日の会場の様子をご報告します。前回までのレポートも併せてお読みください。

2年間の改修工事期間中、中断していた恒例のロビーコンサートですが、今回久しぶりの開催となりました。出演は、2018～2019年にかけてCDアルバム発売記念ツアーを東京～大阪～名古屋で開催したばかりの足利真貴さん(ソプラノ)と、地域に根ざした活動をしているセントラル愛知交響楽団メンバーによる弦楽四重奏団 丹沢絵美(ヴァイオリン)、西村洋美(ヴァイオリン)、井野公実(ヴィオラ)、高柳安佐子(コントラバス)の皆さんでした。



今回も、小さなお子様連れからご年配の方まで、ご用意した客席は大勢のお客様でいっぱいになりました。演奏前には、開館時からの歴史的雰囲気そのまま保存している天井や梁の装飾、開演ベルなど、また戦前の姿を復原した床のモザイクタイルや、最新の設備機器に更新した例として電球のLED化などをご紹介します。

ロビーコンサートは演奏者と客席が近い一体感があることが魅力ですが、さらに公会堂のロビーは高い天井と壁の石材などの効果で音響的にも優れています。その中で、クラシック・オペラ・ミュージカルからポップスまで幅広いジャンルの曲を次々と、たっぷり13曲もお届けしました。



ソプラノの足利さんは艶と張りのある豊かな声量を遺憾なく発揮して客席を圧倒しました。さらに重厚さと繊細さを織り交ぜた弦楽四重奏の温かい音色が会場いっぱい包み込みました。



終演後には、ご希望者の方に改修後の大ホール内をご覧いただきました。更新した客席、拡張した舞台、保存した歴史的意匠などの解説も行いました。

以下にごく一部ですが、アンケートにお寄せいただいた皆さまの感想をご紹介します。

- 最後まで体全身で音楽を堪能することができました。素敵な演奏と歌声をありがとうございました。
- ロビーの音響に感心がありましたが、四重奏なら十分に有りですね。聴けば欲が出るもので、もっといろいろと聴いてみたくなりました。
- 素敵な演奏でした！また来たいと思います！！
- ソプラノの生歌を初めて聴きましたが圧巻でした。表現力もすごく良く、高音には鳥肌が立ちました。弦楽器も間近で聞けて素晴らしい。ありがとうございました。
- 何曲か聴いたことのある曲があったけど、プロはすごいなと思いました。ソプラノの人の声がきれいでした。

アンケートにお答えいただいた皆さま、ありがとうございました。

ロビーコンサートの魅力はクラシックファンだけでなくどなたでも気軽に聴けること。また、演奏者自身による曲目解説などのトークもあり、演奏者をより身近に感じることができます。

今後は不定期の開催になりますが、次回開催が決まりましたらHPでお知らせします。是非楽しみに！